



こんにちは！株式会社のぐちです！8月です。新紙幣が発行され約1ヶ月がたちました。そろそろ出まわってきたかなといった感じです。偽造防止のためのすかしと「ホログラム」に最新の技術が採用されています。立体的な肖像が左右に回転する「3Dホログラム」どれどれと右に左に動かしてみました。「ホントだ！」またユニバーサルデザインに工夫が凝らされています。ところで気になるのは新紙幣の製造原価。こんなにすごい紙幣一体いくらかかっているのだろう。1枚あたり20.4円、旧紙幣の13%アップ。近年の光熱費や人件費、原料の高騰による影響もあるそうです。あ～諭吉にお別れして、栄一に乗りかえる、私って罪な女だわ…
それでは皆さま今月も明るく元気に宜しくお願い致します。

株式会社 **のぐち**



8月の歳時記

「エアコン（エア・コンディショナー）」

連日の猛暑。熱中症対策に欠かせないのがエアコン。エアコンは20世紀の初頭、「空調の父」アメリカのウィリス・キャリアが発明しました。その後GE社が初の家庭の空気調整機を開発しましたが、このときに使われた冷媒は二酸化硫黄という毒性のある物質でした。1930年頃、毒性がなく経済性が良い冷媒フロンガスが発明され、空気を冷やす技術が大きく発展しました。日本では1935年ころ、商業施設への冷房設置が始まりました。20世紀中頃には、ボタンひとつでの運転を可能にしたパッケージ型空気調整機が登場。窓枠にはめたり、壁に穴をあけて設置する一体型クーラーが生産されました。さらに、冷媒ガスの流れを切り替え、冷暖房が出来るヒートポンプ式が発売されました。また、現在では世界のルームエアコンの主流となっているスプリット型ルームエアコンが、家庭用として初めて開発・販売されました。のちに数々の開発を経て、空気清浄機能や、除湿・加湿機能、センサーによりAIで制御を行なうなど、様々な機能を持ったエアコンが登場しています。最初の発明から約120年、エアコンの普及と共にグリーン購入法、フロン排出抑制法等の法律も作られ、地球温暖化・環境破壊に配慮しています。先人達の開発意欲に感謝すると共に、地球環境を守っていききたいですね。

「では皆さま、今月も元気よく笑顔で伺いますので、笑顔でむかえて下さいね。」

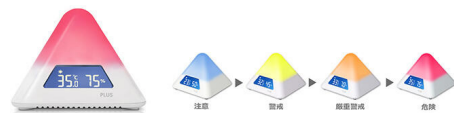
これいいじゃん

便利グッズ研究会からのお知らせ

私たち「便利グッズ研究会」では独断と偏見で選び抜いた便利グッズを皆様にご紹介することを生きがいとしております。ハイ！今回ご紹介するのは、

「360ColorView 温湿度LEDアラーム」

遠くからでも一目でわかるピラミッドデザイン。色が変わって室内の暑さ指数・乾燥レベルをお知らせします。暑さ指数は人体と外気との熱のやりとり（熱収支）に着目した指標ですが、このアラームは熱中症になりやすい室内環境の注意レベルを、室温・相対湿度から計算し、4段階で表示。青（注意）、黄（警戒）、橙（厳重注意）、赤（危険）。さらに橙（厳重注意）と赤（危険）の時はブザーでお知らせ。ON・OFF機能も付いています。LEDの明るさも「低→中→高」の三段階。さらにエコモードにすれば、「厳重警戒レベル」と「危険レベル」のみLEDを点灯。LEDのみ常時点灯と使い分け。また夜間など人のいない環境で周囲が暗くなるとLEDを自動消灯出来ます。学校・教育現場、介護施設、高齢者や乳幼児がいるご家庭、イベント会場や公共施設など活躍の場は様々。冬は乾燥対策にも使えて「これいいじゃん」ってわけ。ぜひ皆さまも試してみてくださいね。



小売希望価格 11,300円（税別）

スタッフ登場

7月のとある休日のこと。
営業の柴田がこっそり教えちゃいます。

夏は花火大会や夏祭りのシーズンとなりました。

私が住む自治会も盆踊りがあります。そこで小学生が中心となりお囃子を披露するのですが、そのお囃子を教える係を8年ほど努めています。教えている子供って凄いなって思います。毎年新しい子が参加してくれるのですが、4回の練習で一人前に演奏ができるのです。

そして当日に櫓の上で胸を張って演奏している子供、下から我が子の写真を一生懸命に撮影する親を見るのが、この役を受けた醍醐味となっております。

自分もそんな子供を見て努力を再認識させられます。そんなある日の7月でした。

